

2026年4月23日

## 松戸市との連携協定に基づく金融教育の取組開始

～松戸市内の小中学校において実践的な授業を展開～

株式会社千葉興業銀行（頭取 梅田 仁司）は、松戸市との連携協定に基づき、松戸市内の小中学校において金融教育の取組みを開始しますのでお知らせいたします。

近年、消費行動の低年齢化やデジタル化の進展により子どもたちがお金に関わる機会が増加しています。加えて、キャッシュレス決済の普及や資産形成の重要性の高まりを背景に、金融リテラシーの向上は社会的課題となっています。本取組みは、2025年11月に松戸市と17の地域金融機関との間で締結した連携協定に基づく具体的な実施策の第1弾として、将来に活用できる金融知識や判断力の育成を図るため、地域金融機関が松戸市内の小中学校30校において実践的な授業を展開するものです。自治体主導で複数校にわたり展開する取組みとしては、千葉県内でも先進的な試みとなります。当行は30校のうち8校の授業を受け持つ予定で、お金の大切さ、将来に向けた資産形成の基礎について、分かりやすく学んでいただく機会をご提供いたします。

当行は、地域社会に対する責務として社会・環境問題をはじめとするサステナビリティへ適切に対応することとし、次世代育成支援活動など「千葉の未来を担う人材の育成」をサステナビリティ重点項目の一つに掲げております。これからも地域課題の解決に資するさまざまな取組みを展開してまいります。

記

### 概要

当行 実施予定	松戸市内の小中学校8校（小学校6校、中学校2校を予定）
内 容	お金の役割、売買契約の基礎、金融の仕組み、計画的な消費・貯蓄、働くことと経済の関係等。 ※学校の要望に応じて対応。

以上

